

# よくある質問 (FAQ)

## Paragon® II



一般的な質問	
Paragon II とは何ですか？	Paragon II は、エンタープライズクラスの Cat5 アナログ KVM(キーボード、ビデオ、マウス)で、時間と場所を問わず、サーバや他のネットワークデバイスに対する安全なアクセスと制御を実現します。
ビデオリダイレクト(強制切り替え)とは何ですか？	ビデオリダイレクトとは、管理者がサーバのビデオ信号を任意のユーザステーションから別のユーザステーションへリダイレクトすることができる機能です。この機能は、NOC環境や企業説明会、研修センターなど、複数の人に向けてビデオ情報を表示しなければならない環境において特に有用です。
Paragon II は IBM BladeCenter®をサポートしますか？	Paragon II は、BladeCenter シャーシごとに単一の CIM 接続経路で IBM BladeCenter をサポートします。BladeCenter をサポートする Paragon II CIM は 2 種類あります(P2CIM-APS2-B と P2CIM-AUSB-B)。カスケード構成の Paragon II と同様、1 人のユーザが BladeCenter シャーシ内の複数のサーバに一度にアクセスすることができます。サポート対象の BladeCenter モデルに関する詳細については、Paragon II のユーザガイドを参照ください。
マルチビデオとは何ですか？	マルチビデオは「ポート追従スイッチ」とも呼ばれ、複数のユーザステーションにおいて複数のビデオポートを持つサーバのビデオ出力を同時に受信できます。この機能を利用するには、Paragon Manager™でチャンネルポートの関連付けを設定します。同一の Paragon II UMT のスタックユニット間でポートを共有することができます。
Paragon II はワイドスクリーン解像度をサポートしますか？	はい。Paragon II は一部のワイドスクリーン解像度をサポートします。ただし、VGA または SVGA モニタを使用する場合に限りです。LCD ディスプレイを利用する場合には、1440×900 および 1920×1200 の各解像度をサポートします。
Paragon II は CORTRON®キーボードをサポートしますか？	Paragon II は、厳しい環境下での KVM アクセス用に、CORTRON 製のモデル 121 キーボードをサポートします。CORTRON キーボードは、軍や移動・屋外環境での利用に最もよく採用されているキーボードです。CORTRON キーボードを利用するには、P2CIM-AUSB、P2CIM-APS/2 および P2CIM-ASUN CIM が必要です。これらの CIM を使用する際にサポートされる機能の詳細については、リリースノート、およびユーザガイドを参照ください。

一般的な質問	
Paragon I のユーザステーションは、Paragon II のスイッチや CIM とともに使用することはできますか？	Paragon I には 3 世代のハードウェアがあります。バージョン 3 のハードウェアであれば、Paragon II で利用することができます。
最適なビデオ品質を得るために推奨されるケーブルの長さは何くらいですか？	<p>P2-EUST から P2-UMT、P2CIM までのケーブルの推奨最長距離は、300 メートルです。P2-UST を使用する場合は 150 メートルになります。</p> <p>Belden 社製以外のケーブルを使用する場合、最大限の性能を確保するためには、ケーブルの長さに関わらず、あらゆる構成において P2-EUST の導入を推奨します。Belden 社製ケーブルを使用する場合は、ユーザステーションとターゲットデバイス間の距離が 150 メートル未満の構成において、P2-UST または P2-EUST のいずれかを選択することができます。</p> <p>P2-EUST は、最長 300 メートルの距離で最高 1920×1440(60Hz) という業界最高水準の解像度をサポートしますが、ターゲットデバイスから 300 メートル以上距離のある構成の場合でも、優れたビデオ性能を実現した例が多数報告されています。</p>
ログインごとにビデオ設定を調整する必要がありますか？	いいえ。Paragon II は前回のビデオ設定を保持します。自動スキュー補正をサポートする型式 P2CIM-Axxx の CIM を導入している場合、ビデオは自動調整されます。チャンネル毎にビデオ画質を手動で調整する必要がなく、製品の設定に要する時間が節約できます。
P2-UST と P2-EUST は、いずれも Deko® の Fast Action Keyboard をサポートしますか？	いいえ。Deko® の Fast Action Keyboard をサポートするのは P2-EUST のみです。
ゴースティングとは何ですか？	「ゴースト」とは、取り外された後もチャンネルポートに維持される CIM のポート名を言います。この CIM の記録はローカルユーザポートの OSD に黒色で表示され、Paragon II と動作する他のラリタンのインタフェースでも非アクティブの状態が表示されます。「ゴースティング」機能により、管理者はこの「ゴースト」記録を任意のシステムで維持または削除することができます。
P2-HUBPAC は自動スキュー補正をサポートしますか？	はい。P2-HUBPAC は自動スキュー補正をサポートします。
<b>スタッキング</b>	
Paragon II はスタック可能なスイッチだということですが、論理ユニットをスタックし、使用可能なポート数を増やすことができますか？	はい。Paragon II のスタッキング機能を使用すると、論理層間のケーブル配線が不要になり、代わりに 1 本のスタッキングケーブルのみでユニットをスタッキングし、最大 128 ポートまで追加することができます。

一般的な質問	
カスケードされた Paragon II ユニット間の CAT5 ケーブルを取り除くことはできますか？	はい。カスケード接続の代わりに Paragon II 独自のスタッキング機能を活用して、各スイッチにつき最大 128 サーバポートまで増やすことができます。128 ポート以上必要な場合は、スタッキングとカスケードを併用することも可能です。
スタッキングはカスケードのようにすべてのポートを使用しますか？	いいえ。専用の拡張ポートを使用し、スタッキングケーブル 1 本で P2-UMT832M および P2-UMT1664M に、P2-UMT832S および P2-UMT1664S をスタックすることができます。これにより、サーバやユーザポートを無駄に消費することはありません。
何台の Paragon II スイッチをスタックできますか？	4 台の P2-UMT832 スイッチ(1 台の P2-UMT832M と 3 台の P2-UMT832S) と 2 台の P2-UMT1664 スイッチ(P2-UMT1664M と P2-UMT1664S 各 1 台) をスタックすることができます。
2 段目、3 段目のユニットをスタックすることはできますか？	はい。設定および互換性に関するガイドラインについては、Paragon II のマニュアルを参照してください。
管理	
UMT シリーズのファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？	< Scroll Lock > キーを 2 度押してから、< F8 > キーを押します。[firmware ver(ファームウェアバージョン):] というフィールドに、現在使用しているファームウェアが表示されます。
シリアルケーブルを各 Paragon コンポーネントに接続することなく、簡単にファームウェアをアップグレードする方法はありますか？	はい。Paragon Manager を使用すれば、Paragon II に接続されているデバイスへファームウェアを送信することができます。
Paragon II にはイベントログ機能がありますが、このログを将来の監査目的のためオフラインファイルに保存することはできますか？	はい。Paragon Manager を使用すれば、すべてのシステムイベントを適切なテキストファイルに保存、格納することができます。
以前保存した Paragon 概要ファイルを Paragon II でリストアすることはできますか？	はい。Paragon Manager を使用して Paragon 概要ファイルを読み込み、読み込んだデータを Paragon II スイッチへリストアすることができます。
各ユニットはファームウェアアップグレードのためのネットワークポートを装備していますか？ それともベースユニットだけですか？	すべての Paragon II スイッチがファームウェアアップグレードのためのネットワークポートを備えています。各ユニットに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で Paragon Manager ソフトウェアにより認識されます。
統合電源管理	

<b>一般的な質問</b>	
「統合電源管理」とは何ですか？	統合電源管理は、サーバ管理と同じ OSD 上のメニュー選択により、Paragon II に接続されているラリタンのリモート電源管理ユニットを制御します。
Paragon II の OSD から、接続されているすべての電源ユニットへアクセスし、制御することはできますか？	はい。Paragon II では、接続デバイスの電源管理、コンセントごとのセキュリティ許可、複数の電源サーバへの電源オン/オフおよび再投入、および各接続ストリップからのステータス情報の取得が可能です。
<b>互換性</b>	
シリアル制御デバイス (UNIX サーバやハブ等) を所有していますが、Paragon II でアクセスおよび制御することはできますか？	はい。P2CIM-SER を接続するだけで、RS-232 シリアルポートが PS/2 および VGA ビデオポートに変換されます。P2CIM-SER をシリアル制御デバイスに接続し、さらに Paragon II スイッチへ CAT5 ケーブルで接続すれば、最長 300 メートルまでアクセスが可能です。
UNIX が稼働する Digital Alpha と OpenVMS が稼働する別の Digital Alpha を所有し、特殊な LK111 または LK461 キーボードを使用しています。スイッチの操作にはどのような影響がありますか？	Alpha は全く問題なく作動します。ラリタンのエミュレーションには独自の機能が組み込まれており、UNIX や OpenVMS が稼働する LK111 または LK461 キーボードをサポートします。
UNIX が稼働する Digital Alpha で標準 PS/2 キーボードを使用する場合、スイッチの操作にはどのような影響がありますか？	ラリタンのコンバータ (AUKME) を UNIX が稼働する Alpha に接続するだけで、すべてのコンピュータが標準 PS/2 キーボードで問題なく作動します。
<b>ケーブル</b>	

一般的な質問	
<p>カテゴリ 5e UTP ケーブルは標準化されています。なぜ、ラリタン認定のケーブルの代わりに通常のカテゴリ 5e UTP ケーブルを使用することができないのですか？</p>	<p>UTP ケーブルはデジタルデータの送信を目的とし、ケーブルの仕様はその用途に合わせて最適化されています。しかし、ビデオデータは本質的にアナログであることから、ラリタン独自のテクノロジーにおいて（高帯域幅のビデオ画像情報を比較的シールドの薄いカテゴリ 5e UTP、6 UTP または 7 UTP ケーブルでも送信可能）は、特定のケーブル特性のためにより厳格な許容値が要求されます。</p> <p>UTP ケーブルの特性の 1 つであるディレイ・スキュー機能は、ラリタンシステムのパフォーマンスに大きく影響します。UTP ケーブルは、ツイストペアワイヤ 4 本で構成され、それぞれが 1 組のデータを送信します。ペア間の相互干渉を最小限に抑えるために、各ペアの 1 フィート当たりのねじり回数をわずかに異なる割合にする必要があります。しかし、ケーブルが長くなると、このねじり回数の割合のわずかな違いによって、各ツイストペア間のデータ転送速度に計測可能な差異が生じます。この到達時間差を「ディレイ・スキュー」と言います。</p> <p>これらが、ラリタンのソリューションに与える影響には次のようなものがあります。ラリタン製品は、赤、緑、青のビデオ画像情報をそれぞれ異なるツイストペアで送信しており、これらの情報が同時に到達しないと、ビデオ画像は不鮮明になります。ラリタン独自のアルゴリズムにより、この現象は補正されますが、物理的な限界によりあらゆるアルゴリズムにも正常に機能する限界があります。</p>
<p>カテゴリ 6 UTP ケーブルを使用できますか？</p>	<p>はい。</p>
<p>認定外のカテゴリ 5e UTP ケーブルを使用することはできますか？</p>	<p>はい。ただし、ラリタン認定のカテゴリ 5e UTP、6 UTP または 7 UTP ケーブルと同様のパフォーマンスが得られない可能性があります。認定外のカテゴリ 5e UTP ケーブルをラリタン製品で使用すると、ビデオのパフォーマンスが、若干劣る～使用できない程度まで低下する恐れがあります。</p> <p>認定外のケーブルをラリタン製品で使用しても許容し得る範囲のパフォーマンスを維持できるのは、ユーザコンソールと接続デバイス間のケーブルの長さが 90 メートル未満の場合のみです。</p> <p>ラリタン認定のケーブル製品の価格は、競合製品に比べて高いわけではありません。このため、ラリタンは、ラリタン製品のアプリケーションで最大限のパフォーマンスを得られるよう、ラリタン認定のケーブルを使用されることを強くお勧めしています。</p>
<p>カテゴリ 5e UTP ではなく、一般的なカテゴリ 5 UTP ケーブルを使用できますか？</p>	<p>はい。ただし、ラリタン認定のカテゴリ 5e UTP、6 UTP または 7 UTP ケーブルと同様のパフォーマンスが得られない可能性があります。標準カテゴリ 5 UTP ケーブルは、遠距離の高品質ビデオ転送に必要な特性を備えていない場合があります。</p>

一般的な質問	
<p>Paragon UMT で利用する場合、ラリタンはどの UTP ケーブルを推奨していますか？</p>	<p>ラリタンは、Paragon UMT で利用する場合、以下のカテゴリ 5e UTP および 6 UTP ケーブル製品を推奨しています。</p> <p>カテゴリ 5e UTP : Belden 社製 DataTwist 350 UTP (#1700A、ソリッド)</p> <p>カテゴリ 6UTP : Belden 社製 MediaTwist (#1872A、ソリッド)</p> <p>認定外のケーブルを使用すると、ビデオやデータが劣化し、満足のいく品質が得られなくなる可能性があります。上記のラリタン認定のケーブル製品は広く流通しており、手頃な価格です。</p> <p>ラリタン認定のケーブルを使用した場合、1920×1440(60Hz)および 1600×1200(75Hz および 85Hz)でそれぞれ最長 300 メートルまでビデオ信号を送信することができます。</p> <p>(注：ラリタン社と Belden 社との間に販売上の提携関係はなく、Belden 社製品を推奨することでラリタン社が金銭的報酬を受けることは一切ありません)</p>
<p>ラリタン認定のケーブルを使用しないとどうなりますか？</p>	<p>ラリタンが認定するケーブル製品を使用しないと、最大限のパフォーマンスが得られなくなり、ビデオ画像が不鮮明になる可能性があります。ビデオ信号の解像度が高い場合や、遠距離送信が必要な場合は特に顕著です。さらに、LCD モニタが使用できなくなる可能性もあります。新しい P2-EUST を使用した場合、許容値は拡大しますが、最高のビデオ品質を確保するためには記載のケーブルを使用されることをお勧めします。</p>
<p>標準 Ethernet(10BASE-T)ケーブルを使用できますか？</p>	<p>いいえ。標準 Ethernet ケーブルは、高品質ビデオの長距離送信に必要な帯域幅特性を備えていません。</p>
<b>ホットキー機能</b>	
<p>ホットキーを有効にする際、&lt;scroll lock&gt;キーを使いたくないのですが、他に方法がありますか？</p>	<p>ホットキーのアクティベータは、ほかの各種キーへ簡単に変更することができます。ホットキーモードで任意の新しいホットキーアクティベータを押した後に、&lt;Enter&gt;キーを押します。</p>
<b>トラックボールキーボード</b>	
<p>トラックボールキーボードを使用できますか？</p>	<p>ラリタンの KVM スイッチのキーボードユーザポートには、いずれの PS/2 キーボードも差し込むことができます。</p>
<b>USB デバイスの接続</b>	
<p>コンピュータに USB コネクタが付いています。ラリタンの KVM スイッチに接続することはできますか？</p>	<p>はい。P2CIM-AUSB はマウスおよびキーボード用 USB ポートを備えたサーバで使用することができます。スマートカード認証を必要とするサーバの場合は、P2CIM-AUSB-C を使用してください。</p>



一般的な質問	
<b>P2ZCIM</b>	
サイズ変更コマンドとは何ですか？ また、何をすることで、どのように役に立ちますか？	<p>このコマンドはチェーンサイズを設定するために発行されます。チェーンに追加可能な P2ZCIM の最大数がチェーンサイズの上限になります。チェーンサイズは小さい方が、電源状態のレポート機能は向上します。サイズ変更コマンドは、Paragon システムのデータベースメモリを最適化するために使用することもできます。このコマンドの発行方法については、仕様欄を参照してください。P2ZCIM をチェーンに追加する場合は、チェーンサイズを拡大する必要があります。</p> <p>例：新しい P2ZCIM を 8 台 Paragon UMT に接続すると仮定し、そのチェーンに対し 42 台分のデータベースが登録されているとします。この場合、ユーザがそのチェーンにおいて最大 8 台の P2ZCIM しか必要でないとする、データベースメモリが無駄に使用されていることとなります。サイズ変更コマンドで、8 台の P2ZCIM としてチェーンサイズを設定すれば、そのチェーンに対して 8 台分のデータベースのみが登録されます。注：チェーンに P2ZCIM を追加する場合、チェーンサイズを変更する必要があります。</p>
更新コマンドとは何ですか？ また、何をすることで、どのように役に立ちますか？	<p>更新コマンドは、通信アドレスを工場出荷時のデフォルト設定に戻すために発行されます。その後、マスター P2ZCIM が通信アドレスを順に再割り当てするため、このコマンド使用後は通信アドレスの順序が変わります。この方法は、他の方法による問題修復が不可能な場合にも有効です。このコマンドの発行方法については、仕様欄を参照してください。</p> <p>例：使用中の P2ZCIM が Paragon ユーザステーションのチャンネル表示で「チャンネル 42」と表示されるとします。この P2ZCIM を現在のチェーンから外し、別のチェーンに追加しようとしても、この P2ZCIM は新しいチェーン上でも「チャンネル 42」のままチャンネル表示されます。更新コマンドを発行すれば、順番通り再整理されます。</p>
CIM のファームウェアバージョンを確認するにはどうすればいいですか？	<p>CIM に切り替え、テキスト画面(ワードパッド、テキストパッド、ノートパッド等)を開きます。左の&lt;Control&gt;キーを押したまま、&lt;Num Lock&gt;キーを押すと、ファームウェアのバージョンがプリントアウトされます。USB 用 CIM の場合は、キーボードの種類を選択することができます。このモードを終了するには、&lt;Esc&gt;キーを押します。</p>
コンピュータの電源を落とすと P2ZCIM チェーンが消え、20 秒後に再び表示されます。何が起きているのでしょうか？	<p>マスター P2ZCIM が停止した可能性があります。この場合、新たに別の P2ZCIM がマスター P2ZCIM になり、データベースが再構築された可能性があります。これは正常な動作です。</p>

一般的な質問	
<p>P2ZCIM の一部しか表示されませんが、何が起きているのでしょうか？</p>	<p>この現象は様々な理由により発生します。以下はこの問題を解消するための一般的な方法です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 数分待ちます。サイズ変更や通信アドレスの衝突、マスターの重複など、マスターP2ZCIM が一時的に混乱している可能性があります。</li> <li>2. チェーン内のすべての P2ZCIM に電源が入っていることを確認します。</li> <li>3. すべてのケーブルを確認します。</li> <li>4. ターミネータが適切に設置されていることを確認します。</li> <li>5. チェーン内に通信アドレスを持たない P2ZCIM はないか確認します。通信アドレスのない P2ZCIM は 1 分間隔でビープ音を発し、LED が素早く点滅します。こうした現象が見られる場合には、チェーンサイズを確認し、必要に応じてサイズの変更を行ってください。</li> </ol> <p>上記の方法で問題が解消されない場合には、P2ZCIM チェーンを更新してみてください。</p>
<p>P2ZCIM 名が完全に表示されませんが、正常に機能はしているようです。この状態を解消するにはどうすれば良いですか？</p>	<p>マスターP2ZCIM が混乱している可能性があります。通常、数分待てばチェーンは自己修復されます。自己修復されない場合は、更新コマンドを発行してください。</p>
<p>P2ZCIM の電源オフがレポートされるまでに少し時間がかかります。なぜでしょうか？</p>	<p>データ衝突の発生の可能性が生じると、電源がオフになっているかどうかを判断するため P2ZCIM の状態が 3 度確認されます。この検出にかかる時間は、チェーンのサイズとチェーン内の P2ZCIM の数が概ね比例していれば短縮されます。パフォーマンスを最適化するには、チェーンのサイズを変更します。</p>
<p>完全な P2ZCIM チェーンを UMT から切断し、別の P2ZCIM チェーンの末端に追加しました。すべての P2ZCIM を表示させることはできたのですが、1 分近くも時間がかかります。何が起きているのでしょうか？</p>	<p>チェーンを接続する前に、各チェーンには既にマスターが 1 つあります。各チェーンにつきマスターは 1 つだけです。チェーンを接続すると、チェーン内のマスターが突然 2 つになります。この状況が解消されるまでにはしばらく時間を要しますが、これは正常な動作です。</p>
<p>コンピュータの電源を入れると、キーボードとマウスの動作が不安定になることがあります。なぜでしょうか？</p>	<p>コンピュータの電源を入れると、P2ZCIM がマスターP2ZCIM から通信アドレスを取得しようとします。電源投入時にキーボードやマウスを使用すると、データ衝突の発生の可能性が増大し、キーストロークの誤認識やマウス動作が不安定になるなどの可能性が高くなります。通常は、キーボードやマウスのパフォーマンスが遅くなり、キーボードおよびマウスのパケットをドロップすることはありません。マスターP2ZCIM への電力供給が失われると、P2ZCIM との接続を遮断される場合があります。そのため、完全に起動するまで P2ZCIM との通信はしないようにしてください。</p>



一般的な質問	
チェーン内のマスター P2ZCIM を検出する方法はありますか？	はい。P2ZCIM の LED ステータスで CIM の状態を確認することができます。詳しくは LED ステータスの欄を参照してください。
P2ZCIM が 30~40 秒間隔でビープ音を発し、LED が素早く点滅しています。なぜこのような現象が起こるのでしょうか？	P2ZCIM は、通信アドレスを取得していない場合、それをユーザに通知するために 1 分間隔でビープ音を発します。P2ZCIM の数がチェーンサイズを上回っていないかどうかを確認してください。サイズが適正であれば、数分で問題は解消されます。解消されない場合は、再度チェーンサイズを確認してください。P2ZCIM がビープ音を発していると、通信アドレス要求の遅延時間が 40~55 秒増加します。通信アドレス要求の連続によりデータ衝突が発生した場合でも、キーボードやマウスの機能に影響はありませんが、複数のユニットが通信アドレスを取得できない場合は、キーボードやマウスの反応が遅くなる可能性があります。また、2 つのチェーンをつないで 1 つのチェーンを構成した場合にも、P2ZCIM がビープ音を発することがあります。
最初に電源を投入した際に P2ZCIM がビープ音を発します。なぜでしょうか？	これは正常な動作です。CIM に正常に電源が投入されたことを知らせるためのビープ音です。
電源の入った P2ZCIM を別のチェーンに接続したところ、チェーンサイズが合わなくなりました。何が起きたのでしょうか？	追加された P2ZCIM がマスター P2ZCIM になったためです。P2ZCIM を別のチェーンに追加すると、その P2ZCIM も新しいチェーンのマスター P2ZCIM となります。追加された P2ZCIM は、チェーンをリセットし、直前のチェーンサイズを適用しようとします。この問題を回避するには、新しいチェーンに追加する前に、P2ZCIM の電源を一時的にオフにしてください。チェーンのサイズ変更を行えば、この問題は解消されます。
エンハンスドユーザステーション	
販売終了になった従来のスタンダードユーザステーション (P2-UST) とエンハンスドユーザステーション (P2-EUST) との違いは何ですか？	P2-EUST は、P2-UST に比べ解像度が高く、遠距離接続時のビデオ品質も向上しています。型式 P2CIM-Axxx の自動補正機能付き CIM と併用すれば、ケーブルの長さや種類に基づき、自動スキュー補正機能もサポートされます。自動スキュー補正機能は、必要に応じて手動で実行することも可能です。ビデオ品質の向上により、P2-UST の場合は -15~+15、P2-EUST の場合は 0~+6 の範囲でビデオゲインを設定することができます。
スキュー補正とは何ですか？ また、なぜ必要なのですか？	ケーブルの長さや種類の違いによって、ターゲットサーバからユーザステーションに接続されているモニタまで、赤、緑、青のカラーシグナルの到達にスキュー差(時間差)が生じる場合があります。スキュー補正により、ユーザステーションにはほかよりも早く到達するカラーシグナルに遅延時間を追加し、赤、緑、青のシグナルを再同期することができます。

一般的な質問	
<p>P2-EUSTを使用している場合、スキュー補正とビデオゲイン設定を変更するには、ビデオ品質をどのように調整すればよいですか？</p>	<p>型式 P2CIM-Axxx の自動補正機能付き CIM を使用すれば、スキュー補正は P2-EUST で自動的に実行されます。この信号損失に対する自動調整は、ケーブルの長さの種類に基づいて行われます。ただし、手動によるスキュー補正を P2-EUST の自動調整に優先させることもできます。また、手動スキュー補正は、従来の CIM でも引き続き提供されます。</p> <p>スキュー補正を手動で設定するには、調整したいチャンネルに接続します。ホットキーを押して[Selection Menu(選択メニュー)]を有効にし、数値キーパッドの&lt;*&gt;または&lt;/&gt;キーを押して赤、緑または青のカラーシグナルのいずれかを選択します。そして、数値キーパッドの&lt;+&gt;または&lt;-&gt;キーで調整します。スキュー補正範囲は0~31です。</p> <p>ビデオゲインを設定するには、画面下部に表示される[Message Banner(メッセージバナー)]の調整値を参照し、&lt;+&gt;または&lt;-&gt;キーをクリックして、0~+6(P2-USTの場合は-15~+15)の範囲で、満足できるビデオ品質が得られるように調整します。</p>
<p>P2-EUSTでサポートされるビデオ解像度と距離はどのくらいですか？</p>	<p>ビデオ品質は主観的なものであり、また使用されているケーブルやモニタ、ケーブルの長さおよび設定した解像度によって左右されます。P2-EUSTは、300メートル超で1920×1440(60Hz)以上、300メートル以下で1600×1200(75Hz および 85Hz)のビデオ解像度を提供します。</p>